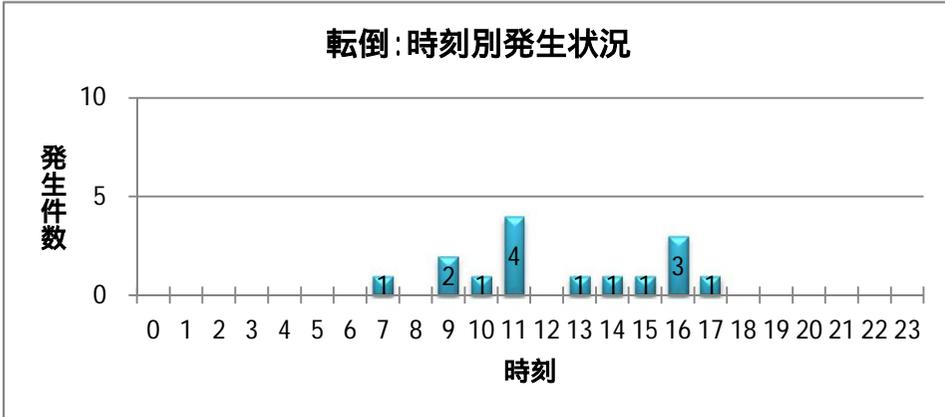
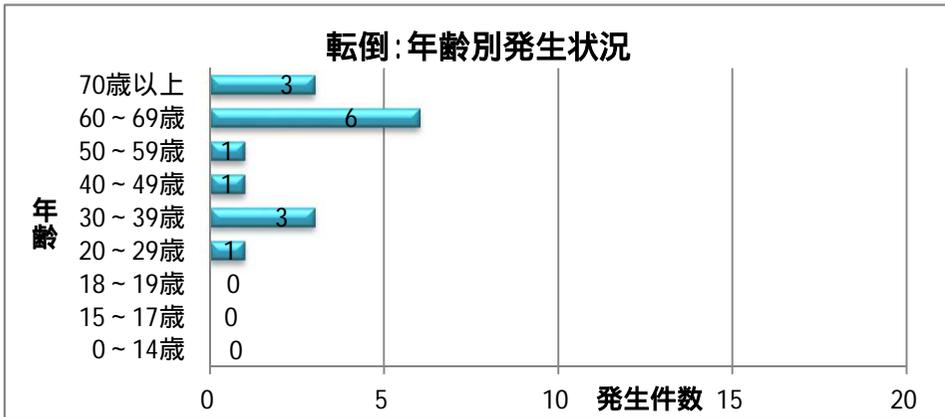
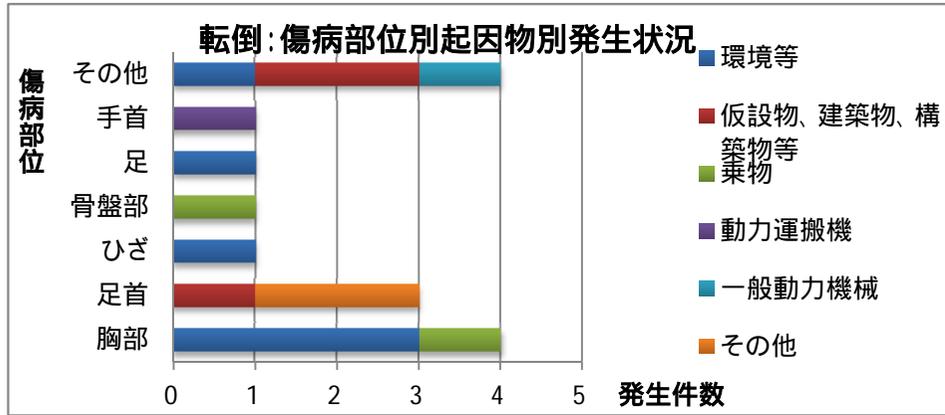


宮崎労働局：農・林業における転倒災害の状況



転倒災害事例(平成26年発生分)	
木材伐出現場での架線架設作業。案内線に枝が掛かったので、伐倒木の上に乗る、案内線から枝を外そうとしたとき、足元が滑り転倒し肋骨を骨折した。	
伐倒木の元口がはねて、退避していた方に来たので、後方に下がったところ、枯れ木に足を取られて転倒し足を打撲した。	
作業終了後、35度の傾斜地を下っていたところ、足を滑らせて転倒し、切株にぶつかり肋骨を骨折した。	
伐倒した木を玉切りするため枝葉の方向に移動していたところ、地面の穴に足がはまり転倒し、膝を靭帯損傷した。	
伐採作業中、移動のため傾斜地を下っていたところ、足を滑らせて転倒し、切り株にぶつかり肋骨を骨折した。	
下刈り作業中、切り株に草刈り機の刃が当たって、キックバックを起こして転倒し、足指を骨折した。	
作業終了後、チェーンソーを持って傾斜地を上っていたところ、木の根につまづいて転倒し、顔の骨を骨折した。	
フォワードのグリスアップを行おうとして、荷台に足を掛けたところ、スパイクピンの付いた長靴が滑り、荷台に転倒し足首を打撲した。	
棚を乗り越えようとした際、足がすべり転倒し、腕の上に膝が落ちて、手首を骨折した。	
収穫中、箱を両手で運んでいたところバランスを崩して転倒し、足首を捻挫した。	
用水路の淵を移動中、水たまりで足を滑らせて、深さ1.3mの用水路に転落し、全身を打撲した。	